

I 事業報告書

1 事業概要

令和6年度は、別紙(事業実績総括表)のとおり、公有地取得事業の受託や造成地の処分などとともに、令和3年度に着手した土地造成事業を完了させるなど、地域の秩序ある整備に寄与した。

公有地取得事業では、先行取得していた道路用地約8千㎡を国が再取得したことにより、3億4千4百万円余の収益を計上した。

土地造成事業では、第二仙台北部中核工業団地(松の平三丁目地内)の造成工事など、13億2千1百万円余の事業を実施するとともに、造成地の処分では、約5万5千㎡を売却し、10億9千9百万円余の収益を計上した。また、土地の賃貸等により6千1百万円余の収益を計上した。

最終損益は、造成地の処分が計画を下回ったものの、1億3千9百万円余の黒字となった。

なお、年度末の借入金残高は約35億円となった。

(1) 土地取得等の状況

公有地取得事業では、国の用地国債による先行取得事業である一般国道108号石巻河南道路事業を実施した。

土地造成事業では、令和3年度に着手した第二仙台北部中核工業団地の再造成工事を予定どおり完了させるとともに、各工業団地の維持・管理業務を実施した。

(2) 土地処分等の状況

公有地取得事業では、先行取得していた一般国道108号古川東バイパス及び同4号大衡道路の用地約8千㎡が国に再取得された。

土地造成事業では、第二仙台北部中核工業団地で2件、仙台空港フロンティアパークで1件の売却を行った。また、保有土地の有効活用として13件の賃貸等を行った。

なお、令和5年10月に表明された第二仙台北部中核工業団地の中央平地区への半導体工場の進出計画は、令和6年9月に撤回され中止となった。

あっせん等事業では、宮城県道路公社の仙台松島道路用地調査点検等技術業務及び宮城県北部土木事務所の名蓋川河川災害助成事業公共用地取得業務を実施した。

2 理事会の開催状況

令和6年5月27日 第104回理事会

令和7年3月21日 第105回理事会

(別紙)

事業実績総括表

1 土地取得等状況

[単位:㎡・円]

事業区分	計 画		実 績				増減額(②-①)	摘 要
	当 初	補正後①	面 積	事業費②	内 訳			
					用地費・補償費	工事費・調査費等		
公有地取得事業								
1 公有用地								
2 代行用地	183,200,000	146,902,000	40,715.78	146,902,008	146,902,008	-	8	
3 特定土地								
計	183,200,000	146,902,000	40,715.78	146,902,008	146,902,008	-	8	
土地造成事業								
1 完成土地等	166,300,000	138,615,000		138,606,178		138,606,178	△ 8,822	
2 開発中土地	1,211,540,000	1,182,375,000		1,183,358,055		1,183,358,055	983,055	
計	1,377,840,000	1,320,990,000	-	1,321,964,233	-	1,321,964,233	974,233	
あっせん等事業 (測量調査業務受託)	-	-		-				
合 計	1,561,040,000	1,467,892,000	40,715.78	1,468,866,241	146,902,008	1,321,964,233	974,241	

2 土地処分等状況

[単位:㎡・円]

事業区分	計 画		実 績				増減額(②-①)	摘 要
	当 初	補正後①	土 地 処 分 等					
			面 積	土地処分収益	賃貸等収益	事務費等収益		
公有地取得事業	344,610,000	344,611,000	8,633.06	344,610,751			344,610,751	(249)
土地造成事業	3,706,540,000	1,145,461,000	55,473.55	1,099,976,017	45,486,000		1,145,462,017	1,017
附帯等事業	15,960,000	16,435,000			16,434,639		16,434,639	△361
あっせん等事業	23,960,000	23,958,000				23,958,000	23,958,000	-
合 計	4,091,070,000	1,530,465,000	64,106.61	1,444,586,768	61,920,639	23,958,000	1,530,465,407	407